

## 節句のたんぼすき（赤穂市有年）

どこの村にも一人ぐらいは、いるものです。

村の人たちが、山へ行こうとさそうと、「いや、おらあ、きょうはたんぼく（・・・）へ行く。」といい、みんなが「さあ、もうひと働きしよう。」といって立ちあがると、「いや、おらあ、もう一服（いっぶく）だ。」といって、なかなか腰をあげません。

この村にも、こんな若者が一人おりました。村の人たちは、この男のことを「天邪鬼（あまのじゃく）」とよんでいました。



そのころは、世の中ものんびりしていました。盆（ぼん）、正月、祭のほかにも、年に五回も節句（せつく）という日があって、その日は、村中の人が仕事を休んで宴会（さかもり）をしたりごちそうを食べたりねころんだりして、のんびり一日を過ごす（すごす）ならわしでした。わけでも、五月の節句は牛の節句（うし）といって、どの家でも牛の角（つ）の（つ）に菖蒲（しょうぶ）の根を結（むす）えて（くわえて）走（は）せたり、川（が）へ入（い）れて竹（たけ）の箒（ほうき）できれいに洗（あら）ってやることになっていました。

その牛の節句（うし）の日（ひ）でした。近所（きんじよ）の人が、牛（うし）をつれて若者（わかしよ）の家（いへ）へや（き）ってき（き）て、いっしょ（いっしょ）に川（が）へ行（い）こうとさ（さ）そ（そ）い（い）ま（ま）した。若者（わかしよ）は、牛（うし）の角（つ）に菖蒲（しょうぶ）もつ（つ）けてい（い）ない（ない）ば（ば）かり（かり）か、

背（せ）中（ちゆう）に鞍（くら）を置（お）いて紐（ひも）を（を）し（し）め（め）て（て）い（い）る（る）と（と）ころ（ころ）で（で）した。

「これはなん（なん）とい（い）う（う）こ（こ）だ（だ）。節句（せつく）とい（い）う（う）の（の）に（に）、たんぼ（たんぼ）すき（すき）でも（でも）あ（あ）る（る）ま（ま）い（い）。は（は）よ（よ）う（う）鞍（くら）を（を）は（は）ず（ず）し（し）て（て）、菖蒲（しょうぶ）の根（ね）を（を）つ（つ）け（け）て（て）川（が）へ（へ）連（れ）て（て）行（い）こう（こう）。」

と、い（い）い（い）ま（ま）した。若者（わかしよ）は

「いや、おら（おら）は、き（き）ょう（ょう）は（は）たんぼ（たんぼ）すき（すき）に（に）い（い）く（く）こ（こ）に（に）決（け）め（め）た（た）ん（ん）だ（だ）。ほ（ほ）っ（っ）と（と）い（い）て（て）くれ（くれ）。」

とい（い）って（て）き（き）ま（ま）せ（せ）ん（ん）。すき（すき）く（く）を（を）か（か）つ（つ）い（い）で（で）牛（うし）の綱（なわ）を（を）に（に）ぎ（ぎ）っ（っ）て（て）、たんぼ（たんぼ）の方（かた）へ（へ）い（い）っ（っ）て（て）し（し）ま（ま）い（い）ま（ま）した。

たんぼ（たんぼ）につ（つ）いた（た）若者（わかしよ）は、す（す）ぐ（ぐ）さ（さ）ま（ま）、すき（すき）く（く）を（を）牛（うし）に（に）ひ（ひ）か（か）せ（せ）て（て）田（い）を（を）耕（か）し（し）（たがやし）は（は）じ（じ）め（め）ま（ま）した。す（す）ると（と）、ど（ど）う（う）し（し）た（た）こ（こ）と（と）で（で）し（し）ょう（ょう）。そ（そ）の（の）たんぼ（たんぼ）か（か）ら（ら）に（に）わ（わ）か（か）に（に）水（みづ）が（が）湧（わ）き（き）出（い）で（で）、み（み）る（る）み（み）る（る）う（う）ち（ち）に（に）深（こ）い（い）泥（どろ）田（でん）に（に）な（な）っ（っ）て（て）し（し）ま（ま）い（い）ま（ま）した。人（ひと）間（ま）も、牛（うし）も、すき（すき）く（く）も（も）み（み）ん（ん）な（な）泥（どろ）の（の）中（ちゆう）に（に）ず（ず）り（り）こ（こ）ん（ん）で（で）い（い）き（き）ま（ま）す（す）。お（お）ど（ど）ろ（ろ）い（い）た（た）若者（わかしよ）は（は）大（おほ）声（こゑ）を（を）あ（あ）げ（げ）て（て）助（たす）け（け）を（を）よ（よ）び（び）ま（ま）した（た）が、み（み）ん（ん）な（な）仕（し）事（じよ）を（を）休（やす）んで（て）い（い）て（て）、あ（あ）た（た）り（り）の（の）たんぼ（たんぼ）に（に）は（は）誰（たれ）も（も）お（お）り（り）ま（ま）せ（せ）ん（ん）。必（かな）死（じ）に（に）も（も）が（が）い（い）て（て）や（や）っ（っ）と（と）若者（わかしよ）だ（だ）け（け）は（は）畦（あぜ）の（の）と（と）ころ（ころ）ま（ま）で（で）た（た）ど（ど）り（り）つ（つ）き（き）ま（ま）した（た）が、牛（うし）と（と）すき（すき）く（く）と（と）は（は）、と（と）う（う）と（と）泥（どろ）の（の）中（ちゆう）に（に）ず（ず）り（り）こ（こ）ん（ん）で（で）し（し）ま（ま）い（い）ま（ま）した。

牛（うし）と（と）すき（すき）く（く）を（を）の（の）ん（ん）で（で）し（し）ま（ま）した（た）こ（こ）の（の）たんぼ（たんぼ）は（は）、そ（そ）れ（れ）か（か）ら（ら）何（なん）年（ねん）た（た）っ（っ）て（て）も（も）も（も）の（の）田（い）に（に）は（は）も（も）ど（ど）り（り）ま（ま）せ（せ）ん（ん）で（で）した。

泥（どろ）が（が）深（こ）く（く）て（て）、人（ひと）も（も）牛（うし）も（も）よ（よ）せ（せ）つ（つ）け（け）ま（ま）せ（せ）ん（ん）。も（も）ち（ち）ろ（ろ）も（も）田（い）植（うゑ）も（も）でき（でき）ま（ま）せ（せ）ん（ん）。荒（あ）れる（る）が（が）ま（ま）ま（ま）に（に）放（はな）っ（っ）て（て）あ（あ）り（り）ま（ま）した。わ（わ）け（け）を（を）知（し）ら（ら）ぬ（ぬ）人（ひと）た（た）ち（ち）は（は）、美（うつく）しい（い）青（あお）田（でん）の（の）な（な）か（か）に（に）一（いっ）枚（まい）、草（くさ）ぼう（ぼう）ぼう（ぼう）の（の）こ（こ）の（の）荒（あ）田（でん）を（を）見（み）て（て）、も（も）っ（っ）た（た）い（い）ない（ない）こ（こ）を（を）す（す）る（る）も（も）の（の）だ（だ）と（と）思（おも）い（い）ま（ま）した。

近（きん）ごろ（ろ）、こ（こ）の（の）荒（あ）田（でん）を（を）中（ちゆう）心（しん）に（に）、附（つ）近（きん）の（の）田（い）を（を）埋（う）め（め）立（た）て（て）広（ひろ）い（い）宅（たく）地（ち）が（が）つ（つ）く（く）ら（ら）れ（れ）、五（ご）十（じゆ）戸（こゝろ）あ（あ）ま（ま）り（り）に（に）家（いへ）が（が）建（た）て（て）ら（ら）れ（れ）ま（ま）した。田（い）を（を）埋（う）め（め）て（て）（う）め（め）て（て）生（な）れ（れ）た（た）町（まち）だ（だ）か（か）ら（ら）と（と）い（い）っ（っ）て（て）「生（な）田（でん）町（まち）」と（と）い（い）う（う）名（な）が（が）つ（つ）け（け）ら（ら）れ（れ）ま（ま）した。

